



費用高い、英語が苦手、留学したくない高校生

高校生の進路選択に関する調査「進学センサス2011」より

進学センサス2011では、今年から新たに高校3年生の留学意向を聞いている。海外に留学したいかと尋ねたところ、最も留学意向が高かったのは文系女子で、最も低かったのは理系男子だった。文系より理系のほうが留学意向は低く、理系の留学したくない理由の1位は「英語が苦手だから」。未来の研究・技術開発を担う理系、特に理系男子の留学意向の低さは、グローバル化への懸念材料だ。調査は2011年3月に高校を卒業し、大学に進学した男女約7500人の回答を集計したもの(調査概要P27)。

まず大学進学者全体の約4割が「留学意向なし」と答え(図表1)、「留学意向あり」(32.8%)を上回った。また男子より女子の留学意向が高い。文理別には、文系のほうが理系より留学意向は高く、さらに文理別と男女別のクロスで見ると、最も留学意向の高い文系女子(43.8%)と、最も低い理系男子(20.3%)では約2倍の開きがある。特に理系男子は「留学したい」が7.1%と1割に満たず、「留学したくない」(33.6%)も高い。

留学したいと思う理由は(図表2)、1位「自分の視野や考え方を広げたい」、次いで「英語(外国語)で会話ができるようになりたい」が多かった。この理由には男女差もあり、女子は外国の価値観・文化などの理解や、いろいろな国の人との交流に関心が高かった。

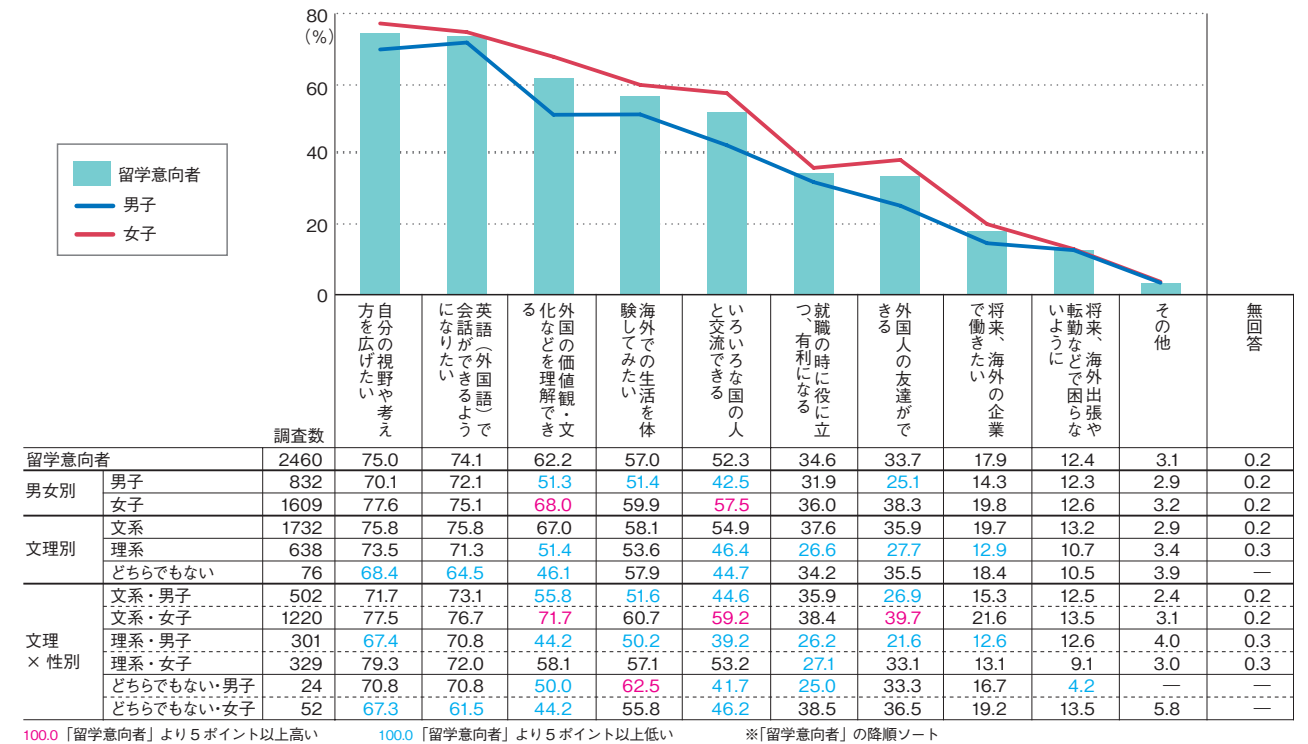
さて、さきほど図表1で「留学意向なし」「どちらでもよい」と回答した留学非意向者に対して、なぜ留学したくないのか理由を尋ねた(図表3)。すると1位「費用が高いから」(47.9%)、2位「英語が苦手だから」(44.3%)の2つが群を抜いた。また男子に比べ、女子は海外の治安や、一人での海外生活に不安を挙げる者が多かった。一方男子は、「そもそも留学を考えたことがない」のポイントが高い。文理別で見ると、文系は「費用が高いから」、理系は「英語が苦手だから」が最も多く、文系女子で費用と生活への不安が一層強まる。留学資金を援助したり、女子の海外生活への不安を大学がケアすることで、留学意向をさらに増やせる余地はありそうだ。

(文/本誌・能地泰代)

図表1 留学意向(単一回答)

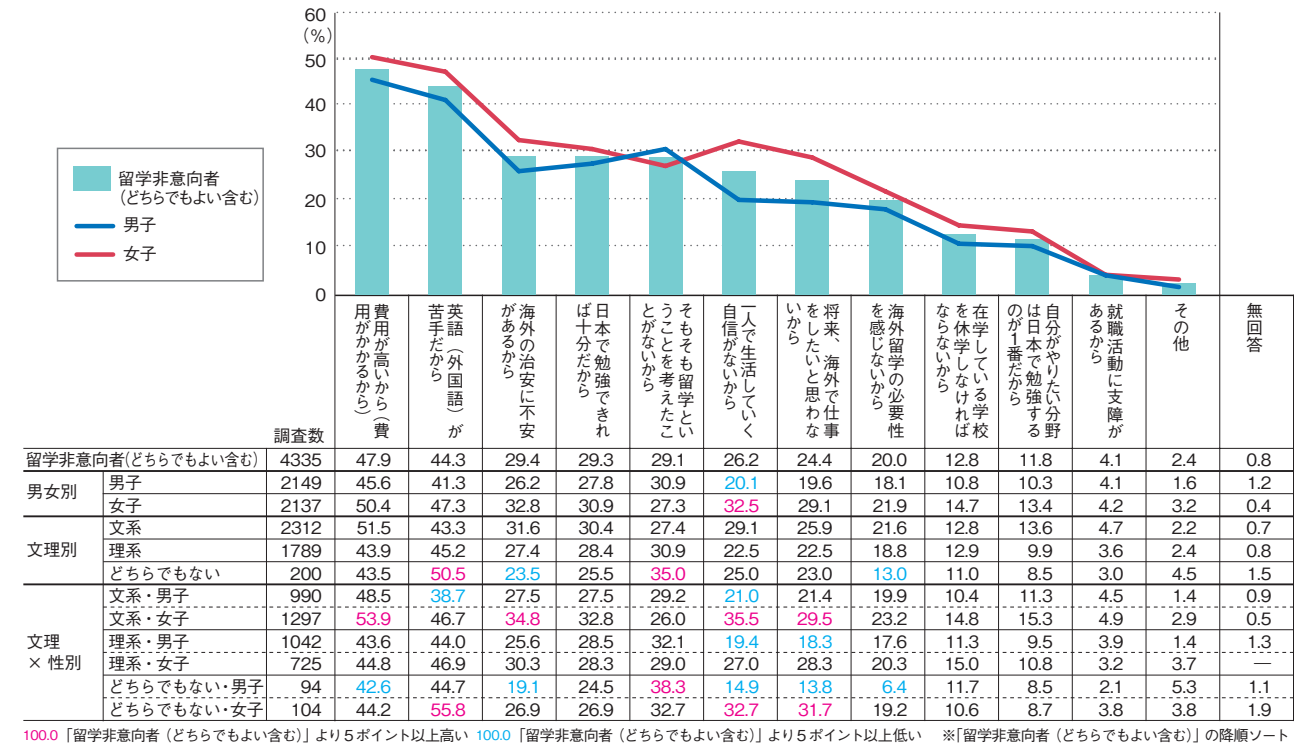
調査数	留学意向あり			留学意向なし			無回答
	留学したい	できれば留学したい	どちらでもよい	あまり留学したくない	留学したくない	無回答	
大学進学者全体 (n=7502)	15.5	17.3	17.4	13.8	26.7	9.4	
男女別							
男子 (n=3289)	11.1	14.2	19.1	15.3	31.0	9.4	
女子 (n=4138)	19.1	19.8	16.0	12.6	23.0	9.5	
文理別							
文系 (n=4475)	20.1	18.6	15.7	12.9	23.0	9.6	
理系 (n=2666)	8.9	15.1	20.4	14.9	31.8	9.0	
どちらでもない (n=304)	8.2	16.8	16.4	14.8	34.5	9.2	
文理×性別							
文系・男子 (n=1648)	15.0	15.4	17.7	14.5	27.9	9.5	
文系・女子 (n=2787)	23.1	20.6	14.5	12.1	19.9	9.7	
理系・男子 (n=1481)	7.1	13.2	21.1	15.7	33.6	9.3	
理系・女子 (n=1154)	10.9	17.6	19.8	13.7	29.4	8.7	
どちらでもない・男子 (n=129)	7.0	11.6	15.5	17.1	40.3	8.5	
どちらでもない・女子 (n=173)	9.2	20.8	16.8	13.3	30.1	9.8	

図表2 留学したい理由(留学意向者/複数回答)



100.0 「留学意向者」より5ポイント以上高い 100.0 「留学意向者」より5ポイント以上低い ※「留学意向者」の降順ソート

図表3 留学したいと思わない理由(留学非意向者(どちらでもよい含む)/複数回答)



100.0 「留学非意向者(どちらでもよい含む)」より5ポイント以上高い 100.0 「留学非意向者(どちらでもよい含む)」より5ポイント以上低い ※「留学非意向者(どちらでもよい含む)」の降順ソート